学校でのAED利用は

なる。

休日の施錠問題を検討中

る高度管理医療機器AEDの電気ショックを与えて救命す 必要性をどう思うか 心臓が停止した時に

い救命処置を行うことが重要の発生時において、一刻も早の で、 そのような場合に必要と

ツ活動におけるAEDの利用 質問 学校での野外スポー

る。 校舎が施錠されているので、 改善に向け検討を進め 41

に要する経費の軽減策は。 答弁 AEDの電池交換等

行っていないが、自主防災組入する機器に対しての補助は 備費として行ってる。 織等が行う防災資機材には整 商業施設や個人で購

民の状況は。 市民の健康は 健康を害している市

質問

後は男女ともに増加した。
を弁 高血圧の改善のため
を弁 高血圧の改善のため
の基準としている収縮期血圧
の基準としている収縮期血圧
の基準としている収縮期血圧
の基準としている収縮期血圧
の表達のため
の表述
の 質問 心身の健康対策への

۲, 努める。 るフレイル予防の普及啓発に として、身体や心などが弱ま 業と介護事業の一体的な施策 かだスポットの新規立ち上げ 合が減少した。 いる人は心の不調を訴える割 への支援に取り組み、 答弁 「はまかだ」 アンケ 本年度、 一を実践して 保険事 はま

カンナッツは



高度管理医療機器 AED

興作物としての指定は。 質問 カンナッ つツの振

ていないため、 培中で、栽培技 る段階とはなっていない。及する振興作物として指定す 答弁 栽培技術が確立され 現在、 市内農家に普 市内で試験栽

佐々木 生 (創

숲)

日本庭園どこに整備

のまちに作りたい」との申し 特する『鎮魂の庭』をぜひこ 大氏から「震災の犠牲者を追 大氏から「震災の犠牲者を追 令和3年4月に、

られた。その経緯と現状、今「日本庭園整備の推進」が加え

ち・ひと・しごと総合戦略に

本年

户

第2期ま

気仙町今泉地区市

後の方向性はどうか

出を受けた。

せ、 地域の歴史文化の伝承とあわ 術協会が設計を進めている。 庭を進める方向で調整を行 興祈念公園と現在再建中の旧 民の憩いの場としての日本庭 吉田家住宅の間の市有地へ作 今泉地区の高田松原津波復 訪れる方々を癒す場、 一般社団法人日本庭園芸

> に追記し、 61 当してでも進めるようにした ふるさと納税を充

随意契約の理由は

されたノウハウを活用しなが 理由書に「本業務により蓄積 ら継続して定型業務に係る行 質問 ある事業の随意契約



企業版ふるさと納税対象事業の オーガニックランド(気仙町)

まち・ひと・しごと総合戦略

ない」とあった。これは随意 あることから競争入札に適し政サービスを提供する必要が

園の整備を支援していきた

ポイントになる。これに該当に適しない」に該当するかが「性質または目的が競争入札167条の2第1項第2号の する業務に精通、もしくは知 答弁 地方自治法施行令の

であろう事業を掲載してき

市長の掲げる公約が具体

者から提案があり、

今後進む

答弁

これまでは民間事業

実施できない、そういった唯ればこの業務、工事、内容を 見を有する程度では随意契約 の照らし合わせをさらに厳 が適用になる。今後は法令 は難しい。この業者じゃなけ 一性がある場合のみ随意契約 内容を

契約の理由になるのか。

大和田 加代子 (碧 45 風)

化して載せることはどうか。総合戦略に市長の公約を具体

まち・ひと・しごと

技術的課題などが検討される 田トの見通 は

新笹

新笹ノ田トンネルに が開催され、

議会の結果と今後の見通しは。 関する県の技術課題等検討協 答弁 1回目の検討協議会

交通課題、 効果などが検討される見込み 行われている。技術的な課題:

地質状況の確認が 笹ノ田峠付近の する。 必要な危険箇所の改良を要望 強く改善を求める考えは。 にこれまでの経過を確認し、 答弁

小学校の複式学級は

が増えているが、現状と今後度は4月からさらに複式学級 の見通しは。 4校に複式学級があり、 昨年度は市内8校中 今年

勇

風)

伊藤

(碧 41

気仙の4校合わせて複式学級 答 弁 矢作、 に冠水する箇所がある。県に険な所がある。また、大雨時 カーブも連続して危 国道343号に道幅 度は9学級になり、それは7学級となっている。 み。 も9学級前後で推移する見込

それ以降

来年

が狭く、

になっている。

的に見えてきた際は、

きでは。 地域関係者と協議、検討すべ を学校運営協議会をはじめ 質問 複式学級の運営状況

県担当者との協議時

実施に向けて調整する。 説明会を開催する。 教育課題などの解決に向けた 児童数の推移を情報提供し、 そうでない点のほか、今後の 答弁 複式学級の良い点や 年度内の

定の経過と今後の対策は。 土砂災害警戒区域指

土砂対策の現状は

の指定となる。

対策工事の完了後、

高台造成地では、 宅

笹ノ田峠ループ橋(矢作町)

調査を経て指定は解除さ 害警戒区域(イエローゾーン)メートル以上となれば土砂災 地が傾斜30度以上で高さが5 除され